



左から安部氏、白井氏

# GREE×WFLE×クレセント

グリー株式会社の100%子会社である株式会社Wright Flyer Live Entertainment (以下:WFLE)が運営する「REALITY」はバーチャルライブ配信アプリだ。無料で人気VTuberの配信を見ることができるだけでなく、スマートフォンだけで自分もVTuberとなり、どこでもライブ配信することができる。

WFLEではVTuber専用スタジオ「REALITY Studio」を完備しており、毎日VTuberの生配信や収録を行なっている。同スタジオのコンセプトやVTuberについて、またVICON導入の経緯等をグリー株式会社GREE VR Studio Laboratory 白井 暁彦氏、株式会社Wright Flyer Live Entertainment Presence Technologyグループ マネージャー 安部 顕信氏に取材した。

## ■「REALITY Studio」

白井氏:「REALITY Studio」のコンセプトは、VTuberのサービスではあっても「バーチャル」ということではなく、「リアリティ」というサービスをブランドを展開しています。「なりたい自分で、生きていく」をコンセプトに現実とバーチャルとの境界線を作っているとも言えると思います。ですので、演者さん達も我々は出演者と呼ぶようにしています。

安部氏:出演される皆さんの負担は出来るだけスタジオ側で吸収できるように、出演者の意図を汲みながらサポートするように心がけています。

白井氏:従来のゲーム挿入動画等の開発ですと、プロデューサーさんやディレクターさんの指示やシナリオをもとに進めていくのが、出演者さんの仕事になると思います。しかし、私たちはライブエンターテインメントなので、異なる技術、ワークフロー、品質が求められます。例えば、出演者さんはF1のレーサーで、私たちはピットに入って来た彼らの周りをガツと固めるスタッフというイメージ

です。ライブでこうしたいというものがあればどんどん言って頂きたいですし、モーションキャプチャスーツも様々なサイズを用意してサポートしています。女性のアクターさんには、女性のスタッフがケアをする事についても配慮しています。

安部氏:楽しみながら出演して頂いて、楽しんでいただいた結果が映像に反映されることを目標にして、スタジオ制作を進めています。その点が他のキャプチャールームとは方向性が異なるのではないのでしょうか。

白井氏:不快なことがあれば顔や声の表情に出てしまいますからね!現在VTuberはプロアマ含めて約9000人以上と言われております。その中でも、VTuberを始める前は「一般人」として生きてきた方々もあり、アバター力によって配信者・インフルエンサーとして活躍しているケースもあります。ライブ番組なので、そういった方々へのケアというのは大事にしています。



安部氏:我々の配信サービスは、当初は二人の出演者が掛け合いをして配信を行うというところから始まりました。それが2人から3人と増えていき、最近ではCGで製作されたカラオケボックスの中でVTuberがカラオケするといった試みをしたり、さらには(収録ではなく)ライブでダンスに挑戦するようになるなど次々とチャレンジを続けていきました。先日は、1画面に8人が同時に生出演する場面もありました。

## ■VICON導入のきっかけ

白井氏:1年前は、実際に自分でモーションキャプチャを作ったり試したりしながら、百数十万円のレンジのモーションキャプチャシステムを使用してコンシューマ技術をベースに自社開発しておりました。「REALITY」はあくまでもプラットフォームなので、どんなVTuberが来ても対応できるという技術的な概念がございます。その後1年かけてビジネスを拡大していき、共通のプラットフォームも整備しました。そういった中で、VICONもShogunからリアルタイムでできるようになったことから、そろそろクレセントさんにご相談しようということになりました。

安部氏:出演者の方々はフリーな方、プロダクションに所属している方、企業の公式キャラクターの方など出自が多岐に渡っております。そのような方々がREALITY STUDIOに訪れて、一緒に歌を歌うなど楽しんで頂いています。こここのスタジオで

は、弊社のプラットフォーム上で様々な所属事務所の方たちが垣根なく色々な企画で楽しんで頂いています。VICONは、スーツが軽量なので、ダンスを踊ったり長時間の配信においても、出演者の方に対して負担が少なくすむこともメリットです。

安部氏:出演希望者のキャラクターが2Dの場合でも、弊社で3D化を行うサポートも実施しています。様々なプラットフォームからキャラクター参入して頂いているため統一感を出すのが難しい部分もありますが、毎日解決に向かうべく技術的な試行錯誤を行なっておりますので、ノウハウが日々積み重なってきていることが大きな財産といえますね。弊社はライブ配信にこだわりを持って取り組んでおりまして、配信中に出演者が感極まって泣いたりすることもあります。まさにライブならではのシーン。ユーザーに如何にして伝えるか。またもっと自由にダンスを踊りたいといった出演者さんの要望をいかに実現するか、それを解決する解法としてVICONの導入を選択させていただきました。VICON導入致しましたが、表現力が大きく向上しました。出演者の反応も大変に良く、皆さん自由にイキイキとダンスを踊っていただいています(笑)。VICON+Shogunシステム導入は弊社のやりたいこと叶える大きな一歩になると考えています。

## ■求める人材

白井氏:我々シニアのエンジニアが現役のうち

に、このVTuberという産業の中で新しい才能や表現、日本初のインパクトのあるものを作ることができるのは良いチャンスだと思っています。

私たちの仕事に興味がある方はとにかく番組を見て欲しいと思っています。こんなにすごいハイクオリティなものを惜しげもなく、無料で配信しているの?ってよく言われますし、この仕事に関わりたいたちはアーティストからエンジニア、研究開発から全ての仕事ができますし、この番組に関わりたいたいという方に来て欲しいですね。ラボでは学生インターンも活躍しております。学生さんはグリー株式会社の新卒採用以外にはWFLEでのアルバイトからエントリーすることも可能です。CG技術者も歓迎ですが、CG技術だけではなく複雑な才能を持った人々、さらにそれを越えたものを目指すチャレンジができる人材を求めています。

安部氏:CG関連の制作だけでは成り立たない仕事です。手元で数多くの新規技術開発を進めると同時に、世の中の新しい技術に対してもアンテナを張って、常に取り入れる貪欲さが重要です。キャラクターの表現方法一つとっても様々なアプローチがあります。まずは「REALITY」のアプリをダウンロードするところから始めて頂いて、我々と一緒にモノ作りをしたいと感じたら是非応募して頂きたいですね。

(取材:立石伸雄 構成:菅崎英展)